

米中対立再燃懸念による米国株急落と反発について 突然のトランプ関税ショック復活だがTACOも復活か

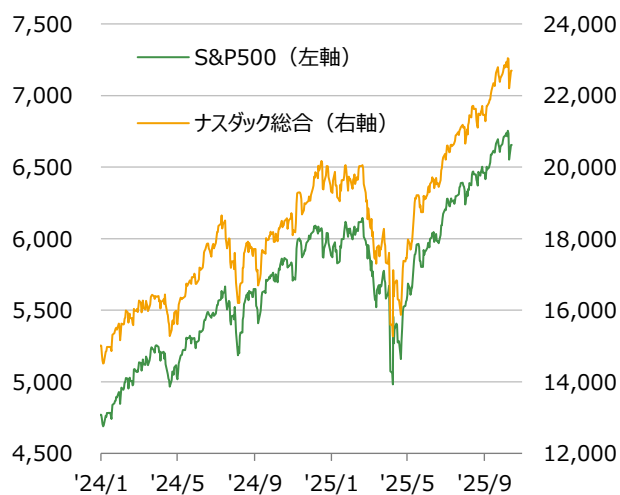
2025年10月14日

トランプ米大統領は100%対中関税を表明、10日の米国株は大幅安に

10月10日の米国株式市場は急落し、S&P500は前日比▲2.7%、ナスダックは同▲3.6%となりました。きっかけはトランプ米大統領の発言。同氏は中国が9日に発表したレアアース輸出規制を強く非難し、報復として11月1日より中国へ100%の追加関税を課す等の対抗措置を発表。10月29日開催のAPECでの習近平中国国家主席との首脳会談見送りを示唆しました。米中貿易戦争再燃への懸念から市場のリスクオフムードは一気に高まりVIXは警戒水準の20を超え21.7まで上昇。先週の米株式市場は最高値圏で一進一退となっていました。こうした市場心理の悪化は利の乗ったハイテク株を中心とした売りを誘発しました。

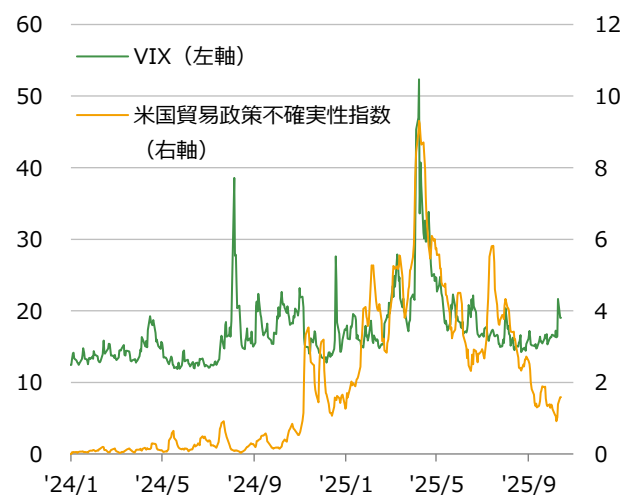
米中貿易交渉について最近の市場は等閑視しており、今回は不意を突かれた形となりました。もっとも今回のトランプ発言は、APECや5月の追加関税適用停止の延長期限である11月10日を前にした、同氏お得意の揺さぶり戦術である可能性が高そうです。そもそもレアアース供給で中国に依存する米国が、中国から一方的譲歩を引き出せる公算は低いことを併せて考えると、トランプ氏は今回もTACO（トランプはいつもびびってやめる）となり、交渉は合理的な点に着地する公算が大きいと考えられます。早くも12日、トランプ氏は対中姿勢を軟化させており、13日のS&P500は前週末比+1.6%、ナスダックは同+2.2%と反発しました。当面、神経質な相場展開となる可能性があります。推移を冷静に見守るべきでしょう。

図表1 S&P500とナスダック総合指数



(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

図表2 VIXと米国貿易不確実性指数



(出所) ブルームバーグより大和アセット作成

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management